

# 古写真や絵画で見る 仙台歴史散策

## 榴ヶ岡の花見

仙台市博物館 学芸員 小田嶋 なつみ

第4回

### いにしへの歌枕の地

「みちのくの つつじが丘の くまつ  
づら 辛しと妹を けふぞ知りぬる。」  
これは、平安時代の歌人、藤原仲平  
が詠んだ歌です（『古今和歌六帖』よ  
り）。榴ヶ岡は、「躑躅岡」とも表し、古  
くから歌枕に詠まれるツツジの名所と  
して知られていました。仙台城下の東  
の端に位置し、江戸時代以降は「榴ヶ  
岡」もしくは「榴岡」と表記されるよ  
うになりました。「榴」は本来「さくら」と  
読み、「山榴」と書いて「やまつつじ」と  
読んだことから「榴（つつじ）」と読  
んだものと思われまます。

### ツツジの名所から桜の名所へ

元禄八年（一六九五）、仙台藩四代  
藩主・伊達綱村は、この榴ヶ岡に生母  
浄眼院（三沢初子）の菩提を弔うた  
め、彼女が生前いつも身に付けていた  
という小さな釈迦如来像を本尊とし  
て釈迦堂を建立しました（釈迦堂は  
昭和四十八年に孝勝寺に移されまし  
た）。そして、その南側に馬場、的場を  
設け、馬場の周囲には、京都から取り  
寄せた枝垂桜を数百株植えたと言えら  
れています。それは「桜の馬場」と称

され、貴賤老若の区別なく多くの人が  
が親しむ城下の憩いの場となりました。  
こうして、歌枕に詠まれたツツジの名  
所、榴ヶ岡は、桜の名所へと変貌を遂  
げます。榴ヶ岡の花見の歴史は、この  
時から始まりました。

### 花見を楽しむ人々

「榴ヶ岡花見図屏風（図1、2）」は、  
江戸時代中期の榴ヶ岡の風景を中心  
に、当時の人々が花見を楽しむ様子が  
描かれた屏風絵です。画面上部に馬場  
や桜並木、下部右に神明社、下部左に  
は天神社（現在の榴岡天満宮）も描か  
れています。桜の馬場周辺では、たく  
さんの人々が思い思いに、春のひと時  
を楽しんでいます。花見の時期は、茶屋  
見せ物小屋、露店などが立ち並び、榴  
ヶ岡は大層賑わったようです。満開の  
桜のもとで、緋毛氈を敷き、黒漆の大  
きな重箱や岡持ちから野弁当を取り出  
して、酒宴を催している様子もみるこ  
とができます。今も昔も、春の訪れに  
心を躍らせる気持ちは変わらないよう  
です。武士も町人も一緒になって花見  
を楽しむ様子は、母の徳を後世まで多  
くの人々に伝えたいと願った、綱村の  
想いの賜物かもしれません。



図1 仙台市指定文化財「榴ヶ岡花見図屏風」 仙台市博物館蔵



図2 桜のもとで酒宴を楽しむ人々。  
「榴ヶ岡花見図屏風」  
(図1の一部を拡大したもの)

仙台市博物館では、六月十六日まで、  
この「榴ヶ岡花見図屏風」を展示して  
おり、三百年前の榴ヶ岡の花見の様子  
をみる事ができます。歴史を知れば、  
榴ヶ岡での花見がよりいっそう楽しめ  
るはずですよ。

春爛漫の季節となりました。皆さん  
もぜひ、桜に染まる杜の都を見つけれ  
ば、出掛けませんか。

**前売券は4/18まで好評発売中!**  
(一般・大学生のみ)

藤崎、仙台三越、チケットぴあ(Pコード:769-478)、  
ローソンチケット(Lコード:22231)、セブン  
チケット、イープラス、イオン仙台店、  
イオン仙台中山店、イオン仙台幸町店、  
イオン利府店、イオン富谷店、イオン  
名取店、イオン多賀城店、イオン  
石巻店、イオンスタイル仙台卸町、  
金港堂本店、金港堂泉パークタウン店、  
紀伊國屋書店仙台店、仙台市博物館  
ミュージアムショップ、ミヤギテレビ  
事業部(022-215-7700:平日  
10時~18時)

## 特別展予告 猫展

### 4月19日(金)~6月9日(日)

●東日本初開催!●

猫は昔から日本人が深く親しんできた動物です。本展では江戸時代  
に巻き起こった「猫ブーム」の様子を、歌川国芳の浮世絵や、絵入り  
本、土人形などを通して紹介します。

【特別展観覧料】一般・大学生1,300円(前売1,100円)、高校生700円、  
小・中学生 500円

※10名以上の団体は当日料金から各100円引き。このほか各種割引があります。  
【開館時間】9:00~16:45(入館は16:15まで)  
【会期中の休館日】毎週月曜日(4/29、5/6は開館)、5/7(火)

「石山海愛度図会」セ、フ、たい、  
歌川国芳  
「中」浮世画譜「三編」部分、歌川国芳  
「左」とるの内(部分)歌川国芳 ※全て個人蔵  
越中清川大納

**仙台市博物館 TEL:022-225-3074** ▶4月の休館日 毎週月曜日(29日は開館)※GW期間(4/27~5/6)は毎日開館します。  
SENDAI CITY MUSEUM 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡)▶ツイッター @sendai\_shihaku ▶博物館HP 仙台市博物館 検索